

神戈陵を渡る風

令和3年度 川辺高校 校長通信 第008号

令和3年5月28日(金)発行

早いもので、もうすぐ5月も終わり、6月となります。県総体(インターハイ予選)も終盤となってきました。3年生にとって、高校生活の大事な行事である神戈陵祭文化祭も、間もなくです。

さて、今回は、教育実習生のメッセージと様子と皆さんにお伝えしたいことを綴ってみました。

教育実習生からのメッセージ

①久々に帰ってきた辺高で感じたこと(印象)

【回答1】 生徒全体も、先生方も、すれ違った時などでの挨拶を欠かさず行っていて、とても雰囲気が良いな という印象でした。

【回答2】 みんなあいさつをしてくれて、とても明るく、元気で、礼儀正しい生徒たちだと思いました。

②私が辺高に入学したワケ(きっかけ)

【回答1】 幼い頃からなぎなたを習っているのですが、高校ではインターハイや国体を目指したいと思い、自宅から近いところでなぎなた部があるところが川辺高校だったからです。

【回答2】 家から一番近い公立の普通科高校であったことと、中学校の同級生も先輩もたくさんいて安心感があったことです。

③私の辺高押し(誇れるもの)

【回答1】 生徒自身は部活動や行事だけではなく、勉強にもすごく熱心で、それに対する先生方の手厚いサポートが非常に魅力的だと思います。

【回答2】 生徒同士が仲が良いこと。職員室横の学習スペースや尚学舎など、勉強する環境が整っていること。

④後輩たちに伝えたいこと(アドバイス)

【回答1】 高校生である今でしか出来ないことは積極的にして楽しんで、自分が将来、何をしたいのかを頭で考えるだけでなく言葉にしておくことで今後役に立つと思います。頑張ってください!!

【回答2】 部活と勉強の両立は大変だと思いますが、今しかない高校生活を後悔しないように精一杯楽しんで下さい。

先輩たちの声って、暖かいですね。

教育実習生による授業(実習)の様子



丸野 麗那先生



富山 真帆先生

5月20日(木)に、地震とその後の津波を想定した**防火防災避難訓練**を実施しました。



雨天のため、靴を持って体育館に避難



生徒向けの防災講話



職員向けの防災講話

東日本大震災から10年をもち、復興はまだできていません。福島第一原子力発電所などは被害が甚大で、復旧や廃炉のめどさえ立っていません。この震災では、命を守ることの大切さを痛感しました。その後も熊本地震や百年に一度と言われるような自然災害が日本各地で頻発しています。現在は梅雨時期なので、大雨になりやすい季節です。油断大敵、登下校に注意しましょう。

さあ、考えよう! Let's think!

思考に気をつけなさい、
それはいつか**言葉**になるから
言葉に気をつけなさい、
それはいつか**行動**になるから
行動に気をつけなさい、
それはいつか**習慣**になるから
習慣に気をつけなさい、
それはいつか**性格**になるから
性格に気をつけなさい、
それはいつか**運命**になるから

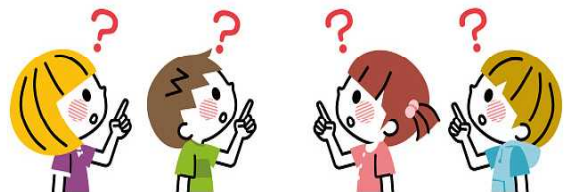
正しくポジティブな思考を**言葉**に変え
正しくポジティブな言葉を**行動**に変え
正しくポジティブな行動を**習慣**に変え
正しくポジティブな習慣を**性格**に変え
正しくポジティブな性格が**運命**を切り開く

この行程こそが、自身の未来の運命になる。
自分の思考が、自分の運命を創り出します。

あなたの環境や、行動や、具現化するもの、
性格、すべてはあなた自身の思考から始まります。

あなた自身の思考が自滅的なネガティブなものなら、もたらす結果はネガティブなものになります。

あなた自身の思考がポジティブなものなら、もたらす結果はポジティブなものになります。
未来の運命は、あなたの**思考から始まっています。**



思考を変えれば、**今(現実)**を変えられる!
行動を変えれば、**明日(未来)**を変えられる!